

『PCA 社会福祉法人会計DX』

Ver.1.0 Rev.5.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY20210517

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◆ 「社会福祉充実計画の承認等に係る事務処理基準」に基づく別に定める単価等について」の一部改正に対応

◇ 「決算処理」－「決算書」「現況報告書」

- ・社会福祉充実残額の計算に使用されている、建設工事費デフレーターの内容を変更しました。

◆各処理

◇ 「データ入力」－「振替伝票入力（コクヨ式）」「振替伝票入力（連想摘要）」 「決算処理」－「決算整理仕訳入力（コクヨ式）」「決算整理仕訳入力（連想摘要）」

- ・検索機能で、前期の仕訳を検索できるよう変更しました。
- ・検索機能で、入力担当者の初期値を前回設定した入力担当者となるよう変更しました。

◇ 「データ入力」－「一括配賦入力」

- ・配賦実行の失敗時に失敗した原因について確認できるように変更しました。

◇ 「データ入力」－「直接配賦入力」「一括配賦入力」

- ・「伝票起票単位=サービス単位」で実行、かつ、「コード000のサービス以外」から「同一事業内のコード000のサービス」に配賦した場合、配賦元仮科目が使用されているケースがありました。その部分を配賦先仮科目に変更します。

例) 000 サービス A
001 サービス B
002 サービス C

配賦元が「001 サービス B」、配賦先が「000 サービス A」、「002 サービス C」に配賦を行った場合、サービス A への配賦時に使用する仮科目を変更します。

- ・配賦元 (B) の仕訳
他サービスへ振替 (001) / 事業費 (001)
他サービスへ振替 (001) /
- ・配賦先 (A) 仕訳 1
事業費 (000) /他サービスへ振替(000) → 他サービスから振替(000) ※変更箇所
- ・配賦先 (C) 仕訳 2
事業費 (002) / 他サービスから振替 (002)

◇ 「日常帳票」－「総勘定元帳」「現金出納帳」「預金出納帳」「補助元帳」

- ・残高のない科目も印刷できるようになりました。

◇ 「日常帳票」－「合計残高試算表」「予算付合計残高試算表」

- ・Excel出力時に、科目の正式名称で出力できるようになりました。

◇ 「銀行処理」－「取引明細の受入」

- ・口座ごとの履歴管理ができるようになりました。

◇「伺書」－「伺書初期設定」「伺書入力」

- ・伺書の伝票番号と伺書番号を、同一番号で管理できるようになりました。

◇「伺書」－「伺書入力」「伺書承認・施行」「伺書転送」

- ・伺書の承認・施行・転送時に、承認日付、施行日付、転送日付を、操作ログに出力するように変更しました。

◇「セキュリティ」－「処理レベルの設定」

- ・以下の処理について、登録権限を設定できるようになりました。
 - 「データ入力」－「振替伝票入力（コクヨ式）」「振替伝票入力（連想摘要）」「経理規程伝票入力」
「取引合計入力」「簡単配賦入力」「直接配賦入力」「一括配賦入力」
 - 「決算処理」－「決算整理仕訳入力（コクヨ式）」「決算整理仕訳入力（連想摘要）」
 - 「伺書」－「伺書入力」

◇その他入力処理

- ・摘要文の入力枠を固定化せず、画面サイズに合わせるようにしました。